

エキゾチックペット研究会

1 学会名：エキゾチックペット研究会
(The Japanese Society of Exotic Pet Medicine)

2 事務局所在地：

〒617-0823 京都府長岡京市長岡1-4-4
ながおかきょう動物病院内

TEL 075-955-6310

FAX 075-957-3610

E-mail jsepm@jsepm.com

URL <http://www.jsepm.com/>

3 目的：

本研究会は犬・猫以外の飼育小動物に関する知識の交換・情報の提供等を行い、会員の診療技術の向上を目指し、会員相互の親睦を深め、わが国における小動物医療の発展に寄与することを目的とする。

4 組織：

会長 小沼 守 (大相模動物クリニック・埼玉)

副会長 加藤 郁 (加藤どうぶつ病院・鳥取)

三輪恭嗣 (みわエキゾチック動物病院・東京)

監事 佐々井浩志 (北須磨動物病院・兵庫)

内藤晴道 (ハート動物クリニック・愛知)

理事 斎藤 聡 (石山通り動物病院・北海道)

滝沢直樹 (滝沢犬猫島の病院・埼玉)

田中 治 (クウ動物病院・大阪)

田向健一 (田園調布動物病院・東京)

霍野晋吉 (Exotic Pet Clinic・神奈川)

中村金一 (ナカムラペットクリニック・岡山)

林 典子 (ハロー動物病院・東京)

会計 角田睦子 (かくだ動物病院・広島)

事務局 曾根和代 (ながおかきょう動物病院・京都)

顧問 大竹隆之 (大竹獣医科医院・新潟)

斉藤久美子 (斉藤動物病院・埼玉)

武田琉璃子 (瑞浪動物病院・岐阜)

野村 治 (牛浜動物病院・東京)

地区オーガナイザー

関東地区：小嶋篤史 (鳥と小動物の病院 リトル・バード・東京)

関西地区：上田謙吾 (フォーゲル動物病院・兵庫)

九州地区：中田至郎 (水前寺公園ペットクリニック／うさぎの病院・熊本)

会員総数 362名 (2012年3月1日現在)

賛助会員数 18社 (2012年3月1日現在)

5 沿革：(設立年月日：1998年11月1日)

エキゾチックペットの疾病の多くは動物種のライフスタイルを尊重した正しい飼育を心がけることが疾病予防や治療成績向上に結びつくが、設立前には獣医師間の十分な情報共有の場がなく、ひとりの獣医師が収集できる知識には限りがあった。また、少ない症例数で治療手技を確立することにも限りがあり、これらの動物種に携わる獣医師たちはそれぞれに限界を感じていた。この反面、これらの動物に対する獣医臨床への期待は高まっていた。このことから、各獣医師間で情報を共有し、それぞれの症例を積み重ね、データを蓄積することでエキゾチックペットの獣医療を確立・発展させることを目指し、1998年3月5日に初代会長大竹隆之(大竹獣医科医院・新潟)らにより第1回発起人会が行われ、1998年11月1日に第1回エキゾチックペット研究会主催セミナーを開催することが決定された。

2代目会長の斉藤久美子(斉藤動物病院・埼玉、さいとうラビットクリニック・東京)により症例発表会・秋期セミナーの定期的な開催が構築され、国際セミナーも開催し、飛躍的に会員数が増加した。

その後3代目会長の中村金一(ナカムラペットクリニック・岡山)により関西セミナーの開催、協賛・後援セミナーの積極的な参加、賛助会員の広い公募、10周年記念大会などが開催され会としての事業がさらに構築し、現在に至る。

6 活動内容と特色：

基本として、3月に症例発表会(東京)、7月に関西セミナー(京都)、11月には通常総会・セミナー(東京)と年3回のセミナーを企画・開催し、年1回の会報誌を発行している。

主催セミナー以外にも、日本獣医内科学アカデミー(神奈川)や動物臨床医学会(大阪)など共催セミナー開催、各獣医師会等で開催されるセミナーへ講師派遣・協賛・後援についても積極的に協力をしている。また、不定期ではあるが、国外より講師を招いた国際セミナーを現在まで5回開催している。

当研究会の関わるセミナーへの参加は、会員・非会員問わず参加可能である。セミナー参加希望者・入会希望者は当研究会のホームページもしくは事務局にメール・FAXにてお問い合わせいただきたい。

7 文責者：曾根和代(事務局)